



さくらづか

第5号

2021. 5. 21

発行



「じぶんがすき」「なかまとともに」「ゆめがいっぱい」



早くも、梅雨入り

ゴールデンウィークが終わり、すぐ梅雨！子ども達は運動場で遊ぶことができなくて、毎日赤コーンと空をながめながら、ため息をついています。児童玄関から運動場に出るところに赤コーンが置いてある日は、運動場で遊ぶことはできません。でも、ちょっとでも、雨がやんでいると、「先生！運動場で遊んではいけないか？」と尋ねてきます。初夏、本来であれば外で思い切り遊ぶことのできる季節のはずですが・・・今週はほとんど雨でした。

また、今日は朝から大雨浸水害、大雨土砂災害警報が出ていて、8時21分に大雨浸水害警報が解除されるという状況で、判断に迷われたのではないのでしょうか？また気になるほどの雨量ではなかったため、20人強の児童が8時ごろには登校していました。（お迎えに来ていただき、再度登校になってしまったことお詫びいたします。）判断に困られると思いますので、必ずメール配信いたします。確認よろしくお願ひします。今回、メールが届かなかったご家庭は、担任まで連絡ください。

コロナ禍、今のところはマスクを外さないで外で遊ぶということになっていますが、やはり日に日に暑くなっていますので、外す児童も増えてきました。熱中症も心配ですので強くは言えませんが・・・マスクと暑さと遊びのバランスはとても難しいのだと子どもたちを見ていると思います。もうしばらくは、遊びを抑制してマスクをつけてほしいと思います。

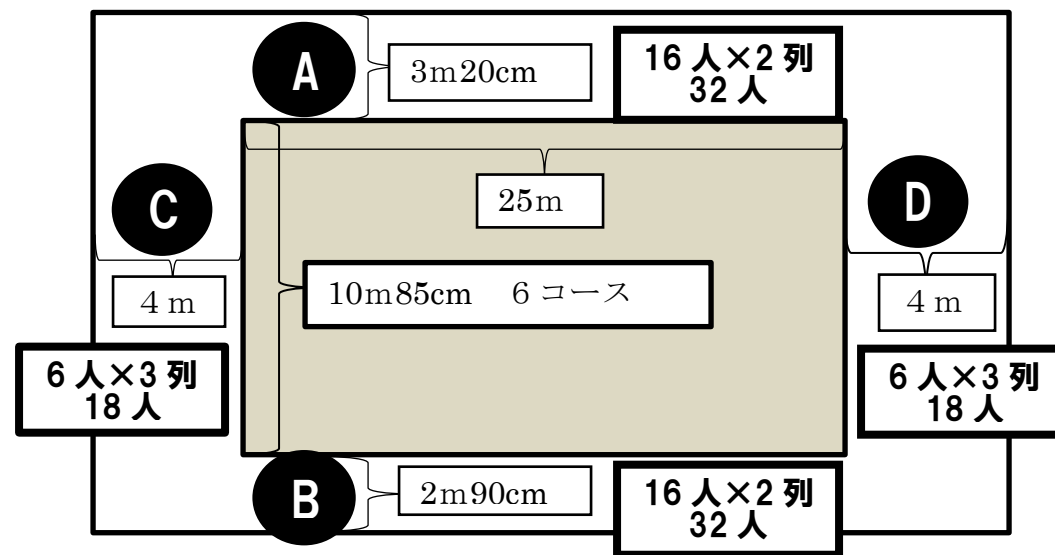
本年度の水泳指導について

さて、夏には欠かせない水泳指導について説明をいたします。本校では、「水泳を通して、水中での感覚を学び、水中での安全について学ぶこと」「水泳を通して、水泳で求められる身体能力・技能を身に着けること」を目標に実施しています。昨年度は児童の健康診断を実施することができなかったため、水泳指導は中止となりました。本年度は、健康診断がプール開きまでには終わりそうですので、今のところ、水泳指導ができるよう計画をしています。水泳指導に関わらず、6月下旬～9月にかけての体育は、**「暑さ指数【WBGT】が31以上【厳重警戒】」**の場合は授業を中止にします。また、水泳でも運動場や体育館での体育でも、**「暑さ指数が【WBGT】が25以上の時は熱中症対策のためマスクを外しての運動」となります。**マスクを外すときは、**「人との距離を1m以上あける、しゃべらない、手をつなぐなど児童が密接する活動は避ける、道具を共用しない」という感染症対策**があります。これらのことを考えると、水泳も含めた体育の授業の実施が夏



場は非常に困難です。水泳指導を中止にしても課題が残りますし、水泳指導を実施しても課題はありますので、実施するかどうかについてはぎりぎりまで判断せず感染状況や気候を鑑み、プール開き1週間前（6月14日予定）に判断することにいたしました。水泳の授業を実施した場合の「コロナ感染拡大防止のための対策」は次の通りです。

- ①水泳指導の指導時数を減らす。（6月21日～7月9日実施6時間程度、その後6年生は着衣水泳を実施）とします。（これまでは15時間程度実施していました。）
- ②入水する人数を減らします。学年3学級中、2学級は水泳、1学級は体育館での体育とします。（これまでは学年単位で入水していました）
- ③児童同士の間隔を前後横1m50cmとれるようにし、動線を一方通行にします。
- ④準備体操は運動場で行ない、入水直前にマスクを外し、タオルとともに個別に袋を用意し管理する。（通常の体育でも同様にマスク袋で管理します）
- ⑤Aゾーン～Dゾーンの定員は下の図の通りとします。
- ⑥児童が密接する運動は行わない。（通常の体育でも同様です）
- ⑦更衣室ではマスクをつけて着替えますが、密にならないよう配慮します。（通常の体育でも同様です）
- ⑧指導する教員はマスクを着用し（プールの中も含めて）、サングラスやゴーグルを付けて指導します。子ども達もできるだけゴーグルを着用させてください。



以上が、本校の対策です、それでも、感染不安があり入水できない場合は、無理に入水する必要はありません。水泳の授業の過ごし方については相談してお知らせいたします。このように、計画していても、文科省や府教委、市教委より中止の指示があったり、濃厚接触や体調不良により教員の人数が確保できなかったり、感染状況が増加傾向に転じた場合等は中止にいたします。

水泳の授業が実施できても十分な指導はできませんので、水着等についてはこれまでように特別に指定はしませんのでご用意できるもので対応お願いします。